

600字物語011

ラブラブハッピー04

作者：エリー

登録日：2020/01/02

おかえり。今日さ、新しい入浴剤買ったの。バラの香り。久しぶりに一緒に入ろうよ。入れたてが一番香りが強いんだって。

わあ、ピンク色。きれいだね。

いい香り。あなたも好きならよかった。あとなにはバラが似合うよね。

あったまるね。

ん？　なんでエッチの時は電気消すのに風呂は明るくていいのかって？

風呂は風呂なんだから恥ずかしいのはおかしいよ。きれいにするためにはいるのに暗かったら見えないでしょ？

なんか不満そうね。気のせい？

ほら、あったまったし、背中流してあげる。

あれ？　腕に引っかき傷ある。また野良猫に手を出したの？

本当は飼いたいって分かっているけどわたしは猫に触れないし・・・。

そりゃあ気持ちは分かる。だけど野良猫は簡単にはなつかないし、病気だって心配だし、写真を撮るだけでガマンしてよ。ね？

そう。高いところからおりられなくて困っていたの。だから抱き上げたのね。それは確かに仕方がないかも。

でもね、そういう話はきちんと行ってよ。

はい、もう傷ふさがっているけどワセリン塗ってあげる。

ふふふ。なんかお母さんになった気分。

かわいい子好き。むぎゆってしちゃうよ。

うん、幸せだよ。